

# 朝倉市 自主防災マップ

地理院タイル：デジタル標高地形図

## 河川水位の危険度レベルと防災情報

### ★危険度レベルによる自治体や住民に求める行動

|  |        |  |
|--|--------|--|
| 逃げ遅れた住民の救援などを行います。   | 5      |  |
| 住民は、避難行動を直ちに完了し、避難していない住民は、直ちに避難行動に移りましょう。<br><b>避難指示相当</b>  | 4 (危険) |  |
| 住民は、避難を判断する段階です。避難に関する情報に注意してください。<br><b>避難準備・高齢者等避難開始相当</b> | 3 (注意) |  |
| 自治体は、避難準備情報の発令を判断する段階です。水防団(消防団)は、避難行動の準備を行う段階です。            | 2 (位相) |  |
| 水防団(消防団)は、水防活動を行うため待機する段階です。                                 | 1      |  |

## 雨の降り方と強さ

| 1時間雨量     | 10~20mm | 20~30mm | 30~50mm          | 50~80mm | 80mm以上          |
|-----------|---------|---------|------------------|---------|-----------------|
| 予報用語      | やや強い雨   | 強い雨     | 激しい雨             | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨            |
| 人の受けるイメージ | ザーザーと降る | どしゃ降り   | バケツをひっくり返したように降る | 滝のように降る | 息苦しくなるような圧迫感がある |

※今いる場所で雨が降っていないとしても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

## 土砂災害の種類 土砂は流れるスピードが速いため、土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。

| 急傾斜地崩壊(がけ崩れ)   | 土石流   | 地すべり  |
|--|---|---|
| がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分で斜面が突然崩れ落ちます。瞬間に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。また、地震が原因で起こることもあります。                                      | 土石流は、谷筋で起きます。大量の土・石・砂が集中豪雨など大量の水と混じり合って流れてくるので、速度が速く大きな破壊力を持っています。  | 地すべりは、粘土などの滑りやすい地盤が一度に広い範囲で動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると広い範囲で道路や建物に被害をもたらします。   |
|  |   |   |
| 土砂災害の前触れには下記のような現象があります  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>斜面にひび割れ・膨らみ等の変形がある</li> <li>斜面から水が湧き出ている</li> <li>変な土におおいかさる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>木立が不ぞろいになる</li> <li>斜面から石ころが落ちる</li> <li>沢の水が濁ったり、水量が急に減る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>井戸の水が濁る</li> <li>山鳴りがする</li> </ul> |

## 災害時の緊急連絡先

救急・救助・火事  
**119番**

事件・事故  
**110番**

災害用伝言ダイヤル  
**171番**

※災害用伝言ダイヤル「171」とは？  
災害発生時に局番なしの「171」にダイヤルすると、伝言の録音や再生ができるサービスです。災害時は、電話がつながりにくい場合があります。家族の安否確認などに利用しましょう。

| 役所  | 朝倉市役所           | 0946-22-1111 |
|-----|-----------------|--------------|
| 警察署 | 朝倉警察署           | 0946-22-0110 |
|     | 甘木・朝倉消防本部       | 0946-22-0119 |
| 消防署 | 甘木・朝倉消防本部 東部分署  | 0946-63-3111 |
|     | 甘木・朝倉消防本部 朝倉出張所 | 0946-52-2922 |

| 電 気    | 九州電力(株) 甘木営業所 | 0120-639-461       |
|--------|---------------|--------------------|
| 水道・下水道 | 朝倉市役所 上下水道課   | 0946-22-1111       |
| 電 話    | NTT西日本(株)     | 113または0120-444-113 |

☎ 防災行政無線  
防災行政無線テレホンサービス 050-5536-2944

## メールなどからの情報

福岡県が提供するスマートフォンアプリ「ふくおか防災ナビ まもふん」は、防災情報配信ツール「防災メール・まもるくん」の強化版です。気象や避難情報などが容易に入手できます。

福岡県が提供する防災情報などのメール配信システムです。

QRコードからも登録できます。

登録方法  
①空メール送信... mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp  
②HPから登録... http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/

★緊急速報メール・エリアメール  
気象庁が配信する情報、市が配信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトをご確認ください。)

## 情報の入手先

★インターネットからの情報

|  |   |
|--|---|
| <br><b>朝倉市ハザードマップ (Web版ハザードマップ、避難支援マップ)</b><br>朝倉市ハザードマップ<br><a href="https://www.city.asakura.lg.jp/www/contents/1612779624117/index.html">https://www.city.asakura.lg.jp/www/contents/1612779624117/index.html</a> | <br><b>朝倉市防災重点農業用ため池ハザードマップ</b><br>朝倉市ため池ハザードマップ<br><a href="https://www.city.asakura.lg.jp/www/contents/1622695049697/index.html">https://www.city.asakura.lg.jp/www/contents/1622695049697/index.html</a> |
| <br><b>福岡管区気象台</b><br>福岡管区気象台<br><a href="http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/">http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/</a>   | <br><b>高解像度降水ナウキャスト</b><br>高解像度降水ナウキャスト<br><a href="https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/">https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/</a>  |
| <br><b>キキクル (危険度分布)</b><br>キキクル<br><a href="https://www.jma.go.jp/bosai/risk/">https://www.jma.go.jp/bosai/risk/</a>   | <br><b>国土交通省 川の防災情報</b><br>川の防災情報<br><a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>  |

★テレビ(データ放送)からの情報  
地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「d ボタン」を押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

## 警戒レベルと避難行動

避難情報等に加えて、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルを提供し、とるべき行動を明確化しています。令和3年5月より、避難勧告はなくなり、警戒レベル4の避難指示で「必ず避難」です。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

| 朝倉市が発令 | 警戒レベル  | 防災気象情報(気象庁が発表) | とるべき行動   |
|--------|--------|----------------|--|
| 緊急安全確保 | 警戒レベル5 | 大雨特別警報         | すでに災害が発生している状況です。何らかの災害がすでに発生している可能性が高まっている状態となっています。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。                                 |
| 避難指示   | 警戒レベル4 | 土砂災害警戒情報       | いままぐ安全な場所へ全員避難。災害が想定されている区域等では、朝倉市や周辺市町村からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくてもキキクル(危険度分布)や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。 |
| 高齢者等避難 | 警戒レベル3 | 大雨警報・洪水警報      | 高齢者や要介護者等は避難。高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。   |
|        | 警戒レベル2 | 大雨注意報・洪水注意報等   | ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。  |
|        | 警戒レベル1 | 早期注意報          | 最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。   |

## 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。

**危険な避難**

**避難場所への早めの避難(水平避難)**

**屋外へ避難できない場合 高所への避難(垂直避難)**

## 避難のポイント

- 速やかに避難しましょう**  
避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。
- 避難する前に**  
電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 災害用伝言板・SNSで連絡する**  
電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。熊本地震では、SNSは有効でした。
- 車での避難は控えて**  
車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。
- 一人暮らしの高齢者などには気配りを**  
近所に一人暮らしの高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合っ一緒に避難しましょう。
- 目・耳の不自由な人**  
声をかけ、情報を伝える。誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 車いすを利用している人**  
どのようか介助したらいいか、本人に確認する。階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きに移動する。
- 耳の不自由な人**  
話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

## 災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいがある人など、災害時に特別な配慮を要する人は、地域のみさんの支援が必要です。

- 高齢者・病気の人の支援**
  - 背負う(または担架、リアカーなどを利用する)など安全な場所まで避難する。
  - 複数の介助者で対応する。
- 目・耳の不自由な人の支援**
  - 声かけ、情報伝達。
  - 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 車いすを利用している人の支援**
  - どのようか介助したらいいか、本人に確認する。
  - 階段では2人以上が必要。
  - 上りは前向き、下りは後ろ向きに移動する。
- 耳の不自由な人の支援**
  - 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
  - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

## 家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

チェック  話し合いたい項目

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認 | <input type="checkbox"/> 災害別の避難行動 避難所とそこに行くまでの経路                               |
| <input type="checkbox"/> 災害が起こった時の身の守り方              | <input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担 家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、近所への連絡など |
| <input type="checkbox"/> 家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所         |  |

※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭はその避難方法も話し合いました。

## 非常持ち出し品チェックリスト

☑ 1次持ち出し品 非常持ち出し品 避難するときに最初に持ち出します。

重さの目安 男性15kg、女性10kg

| 食料品  | 貴重品   | 生活用品  |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水<br><input type="checkbox"/> 携帯食<br><input type="checkbox"/> 非常食<br><input type="checkbox"/> 救急用品<br><input type="checkbox"/> ばんそうこう<br><input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬等<br><input type="checkbox"/> 処方箋の控え<br><input type="checkbox"/> 消毒液<br><input type="checkbox"/> 包帯等<br><input type="checkbox"/> 胃腸薬・かぜ薬等<br><input type="checkbox"/> 口拭き薬 | <input type="checkbox"/> 財布(紙幣、硬貨)<br><input type="checkbox"/> 健康保険証コピー<br><input type="checkbox"/> マイナンバーカード<br><input type="checkbox"/> 家や車の予備鍵<br><input type="checkbox"/> 携帯電話・スマホ(充電器)<br><input type="checkbox"/> 運転免許証・パスポート等<br><input type="checkbox"/> 印鑑・実印・通帳類コピー<br><input type="checkbox"/> 衣類<br><input type="checkbox"/> 下着類・上着<br><input type="checkbox"/> 防寒着・軍手<br><input type="checkbox"/> 雨具(レインコート) | <input type="checkbox"/> マスク<br><input type="checkbox"/> タオル・ハンカチ<br><input type="checkbox"/> トイレトペーパー・ティッシュペーパー<br><input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉<br><input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・懐中電灯(予備電池)等<br><input type="checkbox"/> 携帯用トイレ<br><input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ<br><input type="checkbox"/> 缶切り・万能ナイフ<br><input type="checkbox"/> ライター<br><input type="checkbox"/> 筆記用具<br><input type="checkbox"/> 缶 |

☑ 2次持ち出し品 非常備蓄品 数日間を自足できるように準備しておくものです。

| 飲料水(1人1日3リットル)  | 食料品  | 燃料・その他   |
|---|--|--|
| 家族全員の分をポリタンクなどに溜めておき、沸かしてから飲みましょう。飲料水以外に家事・洗濯・トイレなどに使う生活用水の確保も忘れずに。 | 缶詰、レトルト食品、カップラーメン、切りモチ、アルファ米など。食料類や調味料も準備しておきましょう。 | 短期間なら卓上コンロで充分ですが、冬期は暖房用の燃料が必要です。その他、ポリ袋、新聞紙、ラップなどもあると便利です。 |